

第8回アジア獣医系大学合同シンポジウム (The 8th Joint Symposium of Veterinary Research among Universities of Veterinary Medicine in East Asia, National Chung Hsing University, Taichung, Taiwan) 報告書

鹿児島大学共同獣医学部 大和 修

【総評】

平成29年2月19日に、国立中興大学（台湾台中市）にて実施された第8回アジア獣医系大学合同シンポジウム (The 8th Joint Symposium of Veterinary Research among Universities of Veterinary Medicine in East Asia, National Chung Hsing University, Taichung, Taiwan) に参加したので、下記にその概要について報告する。

今回は、10ヶ国（台湾、日本、韓国、カンボジア、インドネシア、モンゴル、パキスタン、フィリピン、タイ、米国）から、25大学および2研究施設の代表者160名以上が参加し、10のKeynote speech、40の口頭発表 (Oral presentation) および30以上のポスター発表 (Poster presentation) が行われ、過去最大規模のシンポジウムとなった。鹿児島大学からは、教員として私（大和）および2名の大学院生（頼昱璋さんおよび多田尚美さん）が参加した。両大学院生は、それぞれ口頭発表（15分間）を実施して、頼昱璋さんはAward (Best Oral Presentation) を受賞した（頼さんを含む6名が受賞）。また、本シンポジウムの前日夜（2月18日）のレセプションパーティーならびにシンポジウム当日夜のGalaディナーでは、各国の多数の参加者との研究・教育交流が行われ、今後の国際交流の発展に非常に有意義な機会が得られた。

なお、本シンポジウムは、今後も発展的に継続され、来年は韓国ソウル大学が主催することとなり、その翌年（H31年）は日本で実施される予定となるため、現在、山口大学連合獣医学研究科を構成する3大学（山口大学、鹿児島大学、鳥取大学）も、多くの教員と学生が参加して、より積極的に本シンポジウムの開催や運営に関わり、重要な役割を担っていかねばならないと思われた。

【これまでの経緯】

今回の合同シンポジウムのChairである中興大学獣医学部の学部長 Dr. Chi-Chung Chou の本会冒頭の挨拶の中で説明されていたように、本シンポジウムは2010年にソウル大学と岐阜大学連合獣医学研究科により開始され、年々、参加大学が増加して現在に至っている。山口大学連合獣医学研究科が参加したのは、2013年からである。

Year	Venue	Attending Universities
2010	Seoul	SNU, Gifu
2011	Tokyo	SNU, Gifu
2012	Seoul	SNU, Gifu
2013	Tokyo	SNU, Gifu, Yamaguchi
2014	Seoul	SNU, Gifu, Yamaguchi, NTU
2015	Taipei	SNU, Gifu, Yamaguchi, NTU, UT, VNUA
2016	Hanoi	SNU, Gifu, Yamaguchi, NTU, UT, VNUA
2017	Taichung	SNU, Gifu, Yamaguchi, NTU, UT, VNUA, NCHU, NCYU, NPUST, Asia U, Obihiro, TUAT, Tottori, Kagoshima, ChiangMai, KU, CU, KKU, CMU, UpCebu, UNAIR, RUA, MULS, PUA, KSU, MID, RAERI (US-?)



会場（国立中興大学獣医学部）



大会場（開会、キーノートスピーチ）

